

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館施設維持管理						整理番号	838	枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715	昨年度整理番号	846	昨年度枝番号						
係名		管理係		上位施策名				No								
予算事業名		図書館維持管理		コード	83100	図書館サービスの充実				63						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 図書館利用者				根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第2条、第3条、第10条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		図書館の施設維持管理、電子計算機の維持管理を通じて、図書館利用者の利便性の向上を図る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		快適で利便性が高い図書館施設の維持管理の確保と、図書館ホームページを含む図書館システムの利用環境の整備を図ることにより、利用者はより良い環境の中で図書館を利用する。							
	活動指標名(式)		(1) 図書館年間開館日数(全館累計) (2) ホームページ稼働日数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 図書館年間利用者数(全館累計) (2) ホームページアクセス数							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		日	3,266	3,630	3,643	3,990	3,912	4,073	4,323	90.5					
	活動指標(2)		日	365	365	365	365	351	366	365	96.2					
	成果指標(1)		人	2,503,274	2,750,000	2,571,163	2,672,000	2,646,913	2,852,000	3,027,000	87.4					
	成果指標(2)		件	625,436	650,000	713,588	764,000	906,435	1,097,000	1,231,000	73.6					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	339,557	462,069	380,759	529,461	502,466	385,878	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	357	845	1,828	1,829							
	(内) 委託費		千円	107,359	186,497	275,000	414,098	425,203	215,213							
	職員数(常勤   非常勤)		人	5.56   0.00	5.20   0.00	5.10   0.30	7.60   0.50	7.24   0.80	7.00   0.80							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	50,596	47,112	46,206	68,856	65,594	63,420						
		非常勤職員分		千円	0	0	867	1,415	2,264	2,264						
	総事業費 + +		千円	390,153	509,181	427,832	599,732	570,324	451,562							
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	119,459	140,270	117,341	150,097	145,321	110,418							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	390,153	509,181	427,832	599,732	570,324	451,562								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)						
		光熱水費						12	館	64,274						
		電子計算組織管理(図書館システム、ホームページ)						14	所	298,980						
		施設保守管理委託(清掃、保守委託等)						12	館	117,591						
		施設維持管理(修繕等)						12	館	18,707						
		その他 (製版印刷機借上、備品購入費)						11	館	2,914						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 838 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	96.2	18年度予算 執行率%	94.9
	新システム入替えに伴い11館(宮前図書館は改修工事による臨時休館のため除く)が約2週間臨時休館をしたこと、宮前図書館改修に伴う約3ヵ月半の臨時休館など、開館日数が減になったことによる、光熱水費等の未執行が生じた。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年3月1日より、新図書館システムが稼働開始し、貸出冊数増、WEBによるリクエスト等、新たなサービスを開始した。 新システムについては、サーバ方式からWEB方式へと変更したことに伴い、機器等の賃借経費が大幅に削減された。また、開発に係る経費についても併せて開発に伴い大幅減となっている。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区立図書館は、当初月5日の休館日と年末年始(12月28日～1月4日)だったが、現在は各館とも月2日と年末年始(12月31日～1月4日)になっており、図書館の通年開館化が進んでいる。 図書館システムでは、平成13年度図書館HP開設、14年度インターネット予約開始、16年度携帯電話予約開始、平成18年度に昭和57年度に運用開始した図書館システムの見直しを行った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・新図書館システムに関する使い勝手など新たなニーズ ・利用者用インターネットパソコンの設置
	今後の予測	・新図書館システムの稼働に伴い、利用者へのサービス向上が図れるとともに、ペーパーレスなど個人情報管理の徹底、事務の効率化が図ることができる。 ・平成19年4月から導入した指定管理者による運営など、民との協働によりサービスの向上及びコスト削減が望める。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: ・施設維持管理を適正に行うことにより、安心・快適な施設利用が可能となる。 ・新図書館システムの充実により、24時間365日のサービスを行うことができる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 指定管理者制度を活用することにより、施設維持管理経費の抑制が図ることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 公共図書館では、図書館法第17条に図書館利用の無料規定があるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 指定管理者制度の活用により、事業費・人件費の抑制が図ることができる。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 ・平成19年4月より地域図書館2館で指定管理による運営を開始した。 ・現在、委託による運営は3館であり、指定管理と併せて12館中5館で協働による運営体制となっている。 ・平成19年度中に開設予定の(仮称)西荻地域図書館についても、業務委託による運営で行うため、13館中6館で協働となる。
	(3) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・平成19年度に新たな地域図書館が開設予定であることから、14館構想に対して13館目の図書館となり、図書館利用者の増加が予想される。その中で、利用者が快適に安心して利用できる図書館とすため、適正な施設維持管理は必須な事業となる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・開設後40年を経過する館が複数あり、これら古い施設に対して、最善の策を講じて適正な維持に努めるとともに、中長期的な施設改修等の計画を検討する必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 18年度から19年度にかけては、指定管理による図書館運営が開始されること、また、新図書館システム構築に伴う開発経費など、経費削減となる要因があったが、20年度に向けては、それら削減要因がないため、施設維持管理上必要な現経費に変更は生じない。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館奉仕活動				整理番号	839		枝番号		
担当部課名	中央図書館	コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	847		
係名	企画サービス担当				上位施策名			No			
予算事業名	図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63		
事務事業の概要	事業開始年度	● 昭和 ○ 平成		25 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 4 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 図書館利用者				(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第2条、第3条、第10条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	図書館資料の貸出、調査相談に対応したレファレンス業務、リクエストサービス、都立等の公立図書館との相互貸出を行う。また、映画会やお話を開催し、幅広い世代の利用者を対象に図書館サービスを提供している。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書館サービスの向上と充実を図ることにより、図書館利用者の更なる拡大と増加を促す。					
	活動指標名(式)	(1) 図書館年間開館日数(全館累計) (2) 図書館利用者登録者数(累計)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 図書館年間利用者数(全館累計) (2) 年間貸出冊数(全館累計)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	日	3,266	3,630	3,643	3,990	3,912	4,073	4,323	90.5	
	活動指標(2)	日	123,796	130,000	116,075	120,000	112,486	120,000	135,000	83.3	
	成果指標(1)	人	2,503,274	2,750,000	2,571,163	2,672,000	2,646,913	2,852,000	3,027,000	87.4	
	成果指標(2)	件	3,617,904	4,000,000	4,201,585	4,260,000	3,730,626	4,200,000	4,260,000	87.6	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	24,365	43,288	32,388	38,195	44,757	57,061	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	3,954	473			
	(内) 委託費	千円	681	1,373	0	250	980	200			
	職員数(常勤   非常勤)	人	125.33   35.80	105.30   42.80	110.50   49.00	94.20   43.00	81.95   38.60	61.80   27.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,140,503	954,018	1,001,130	853,452	742,467	559,908		
		非常勤職員分	千円	103,104	123,692	141,610	121,690	109,238	77,259		
	総事業費 + +	千円	1,267,972	1,120,998	1,175,128	1,013,337	896,462	694,228			
	単位あたりコスト( - )÷	円	388,234	308,815	322,572	253,969	228,146	170,330			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	1,267,972	1,120,998	1,175,128	1,013,337	896,462	694,228			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単 位	事業費(千円)					
	図書館運営管理		12		館	23,171					
	貸出業務経費		12		館	11,252					
	利用者用インターネットパソコン運営管理		2		館	1,718					
	図書館活動		12		館	7,467					
	その他 (区ホームページパソコン維持管理)					1,149					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	839	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	93.7	18年度予算 執行率%	117.2
	行事実施・利用案内作成等において、職員の創意工夫で対応するなど極力経費削減に努めた。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	中央図書館ほか委託館3館に加えて、指定管理館導入に伴い、経費の見直し・削減が図ることができた。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新システム切替えに伴い、図書・CDの貸出冊数の増加やインターネット・利用者用端末機等を活用した利用登録や予約方法、返却期日の延長などサービスが大幅に見直された。</li> <li>図書館未整備地域における代替措置として新たに「高円寺駅前図書サービスコーナー」を開設した。</li> </ul>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数の制限撤廃と貸出期間の延長</li> <li>学習スペースの確保</li> <li>長期延滞利用者への督促強化</li> <li>図書資料の適正な管理</li> </ul>
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>新システム切替えに伴い、未所蔵図書へのリクエストが可能となったことで、リクエスト件数の増加と貸出限度冊数の増に伴う貸出冊数の増加も考えられるため、今まで以上に図書の円滑な提供のために延滞者への督促強化が重要となる。</li> <li>インターネットを活用したサービスの拡充に伴い、インターネット利用者の更なる増加が予測される。</li> </ul>

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 図書資料を通じて、子どもの感性を磨き、表現力を高めて想像力を豊かにする支援や高齢者の生涯学習意欲に対する支援など、あらゆる世代の区民に対する図書館が果たしている役割は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 運営の一部又はすべてを民間や法人等に委託・指定管理を導入することで効率的で民間の創意工夫を生かした運営が可能となる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法第17条により、公立図書館において無料であることが規定されている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 運営の一部又はすべてを民間や法人等に委託・指定管理を導入することで人件費が抑制される。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( へ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( へ )	協働等による成果と課題 ・人件費が抑制され、運営が効率化された。 ・指定管理導入に伴い、直営館・委託館と指定管理館の連絡・調整が課題となる。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・地域図書館に一部指定管理館が導入され、直営館・委託館がともに創意工夫した個性ある図書館づくりを進め、高度化する区民ニーズに応える。 ・システム切り替えに伴い、サービスが大きく変更されたところではあるが、適正な資料の提供と管理を強化する等更なるサービスの向上に努める。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・直営館・委託館・指定管理館と運営形態が違うなかで、高度化する区民ニーズに応えるためには、各館の連絡調整・相互協力が重要である。 ・適正な資料の提供と管理において、延滞者への督促強化と貸出・返却時における資料状態の点検の強化が重要である。		

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・未整備地域図書館として平成19年12月に仮称西荻地域図書館が開館されることに伴う経費増が見込まれる。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館建設					整理番号	840	枝番号				
担当部課名	中央図書館	コード	620131	連絡先 電話番号	4715	昨年度 整理番号	848	昨年度 枝番号					
係名	地域図書館開設準備担当			上位施策名			No						
予算事業名	図書館建設	コード	83250	図書館サービスの充実			63						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	3
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	主に、図書館未整備地域の区民、保育園、小中学校		根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区基本計画に基づき、図書館未整備地域に地域図書館を建設、整備する。平成17年度(仮称)西荻地域図書館設計、平成18年度～19年度同館建設工事、平成19年度同館開館予定			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 未整備地域に図書館を建設することにより、児童、高齢者など利用館が限定される利用者も含め、小・中学校等団体の利用が容易になる。また、図書館への来館が容易になることにより、利用者がレファレンス等の図書資料等に対する相談を受けることが可能になり、図書に対する区民要望を直接受け付けることができる。新館分だけ区全体の蔵書規模が拡大することによって、図書資料が充実し利用者の資料に対する選択の幅が拡充する。								
	活動指標名(式)	(1) 図書館整備数(累計) (2)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 図書館整備率(整備数 ÷ 目標値) (2)								
指標	活動指標(1)	館	11	12	12	12	12	13	14	85.7			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	79	86	86	86	86	93	100	86.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	163,744	249,404	240,817	285,003	238,467	259,177	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	125,481	149,377	151,166	211,009	177,988	172,099					
	(内)委託費	千円	125,481	137,614	137,092	211,009	177,988	142,811					
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.67   0.00	1.60   0.00	1.90   0.00	1.80   0.00	1.87   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,197	14,496	17,214	16,308	16,942	16,308				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	178,941	263,900	258,031	301,311	255,409	275,485					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	4,860,000	9,543,583	8,905,417	7,525,167	6,451,750	7,952,769					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	178,941	263,900	258,031	301,311	255,409	275,485					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)							
	(仮称)西荻地域図書館建設工事		1		式	177,988							
	初度調弁		1		式	60,305							
	建設事務費等		1		式	174							
	その他 ( )					0							

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 840 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	83.7
	(仮称)西荻地域図書館について、平成18年～平成19年にかけての建設工事を開始した。平成19年の開館に備え、図書資料の購入を開始した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成17年度に委託し完成した設計に基づき、建築工事を開始した。施工にあたっては各専門業者に発注し、経済的かつ安全な方法により、施工を行った。開館時に提供する予定の図書を利用者要望を十分に検討しながら選定を行い購入を始めた。19年度には建設工事が竣工し、18年度に引き続き図書資料の購入、備品類の調達を行い開館の準備を行う。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区基本計画に基づき、1地域に2館、区内に全館で14館の図書館の整備を予定している。現在12館までの整備を完了し、西荻地域の図書館整備が完了すると、未整備地域は1地域になる。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	善福寺地域の住民からは、図書館の早期開設の要望が出されている。現在の建設地にあった旧井草社会教育会館の利用者から、学習室と多目的ホールの継続利用の要望が高かったため、閲覧スペースの増設や、多目的ホールの設備をゆうゆう館に取り入れて設計を行った。			
	今後の予測	未整備地域に、地域図書館2館を建設、整備していく。今後未整備地域は、高円寺地域の1館になる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	未整備地域に新たに開設することにより、図書館への来館が容易になり利用機会を増やすことができる。また、レファレンスや対面朗読など様々な図書館サービスを提供することができる。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	建設については、施工を民間事業者へ委託し、経済的で最新の施工方法で行っている。 理由または具体的内容:			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	公立図書館の建設事業であり、図書館法の趣旨から利用者負担は困難である。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	従来の方法以外に、安全で経済的な施工方法を常に検討する必要がある。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	設計・工事とも民間事業者へ委託している。開館準備及び運営についても、民間事業者へ委託する予定である。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 未整備地域の高円寺地域について、新館用地の確保を計画的に行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高円寺地域での用地については、適正規模の用地確保は困難な状況であるが、確保に努めていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 20年度の建設予定はなし。 今後、未整備地域の図書館建設については、用地が確保され次第、予算化の上執行する。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館改修				整理番号	841		枝番号			
担当部課名	中央図書館		コード	620131	連絡先 電話番号	4715		昨年度 整理番号	-			
係名	管理係		上位施策名				No					
予算事業名	図書館改修		コード	83255		図書館サービスの充実				63		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		18 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 3					
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項		(2) 図書館法第3条、第4条		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則			
	図書館利用者・団体											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高円寺図書館の耐震補強工事の設計を行う。またバリアフリーに必要なエレベーター設置を設計し、空調機器の交換、給排水設備の改修設計も行う。宮前図書館のアスベスト撤去工事を行い、内装、空調、給排水設備等の更新工事を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		高円寺図書館の改修により、今まで来館が困難であった利用者のみならず、多くの利用者にとってより使いやすい施設となる。宮前図書館の改修により、内装が改修され多目的トイレの設置と併せ、多くの利用者が安心して利用できる施設となる。					
	活動指標名(式)		(1) 高円寺図書館改修設計作成・工事 (2) 宮前図書館改修工事実施		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)高円寺図書館改修完成 (2) (代)宮前図書館改修工事竣工					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)		式				1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)		式				1	1		1	100.0	
	成果指標(1)		式				1	1	1	1	50.0	
	成果指標(2)		式				1	1		1	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円				234,756	197,049	232,165	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円				234,756	197,049	232,165			
	(内)委託費		千円				234,672	196,984	232,165			
	職員数(常勤   非常勤)		人				0.40	0.00	0.63	0.00	0.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	3,624	5,708	4,530		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	0	238,380	202,757	236,695			
	単位あたりコスト( - )÷		円				3,624,000	5,708,000	4,530,000			
	財源	受益者負担分		千円				0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円				0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	238,380	202,757	236,695				
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		高円寺図書館改修設計				1	式	6,680				
		宮前図書館改修設計				1	式	4,095				
		宮前図書館改修工事				1	式	186,274				
		その他 ( )						0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	841	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	83.9
		高円寺図書館の耐震診断を委託し、耐震改修設計、機械設備及びバリアフリー化について改修設計を行った。 宮前図書館の改修設計を行い、アスベスト除去工事と併せ機械設備、内装改修工事を実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		高円寺図書館について、耐震診断、耐震設計、改修設計等を併せて委託することにより、設計にかかる期間の短縮を図り、効率的な委託を行った。 宮前図書館のアスベスト改修については、最新の方法を採用し、安全性を高めながら工期を短縮するなど効率的に工事を行うことができた。 平成19年度については、高円寺図書館の改修設計に基づき、改修工事を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	建築年度の古い建物については、機械設備の老朽化しているものもあり、今後計画的に改修を進める必要がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	空調設備の老朽化により、室温調整に不備が発生したり、トイレ等給排水関係設備の老朽化による苦情がある。					
	今後の予測	改修については、建築年次別に計画し順次行う必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由:バリアフリー化工事を行うことにより、館内利用が困難であった利用者が、自由に館内利用することが可能になる。また、耐震改修、アスベスト除去工事により利用者が安全、快適に利用することが可能になる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	設計、工事施工について、民間事業者へ委託し実施している。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	区立図書館の改修事業であり、図書館法の趣旨から困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:現在の段階で最新の設計、施工方法を取入れている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	設計、工事施工について、民間事業者へ委託し実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 建築後40年を経過した図書館が3館、35年を経過した図書館が1館あるなど、機械設備の改修とともに建物自体の耐久年数を考慮しつつ改築計画の策定が必要になる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 永続的で円滑な施設利用を確保するためには、施設の改修・改築計画が必要であり、早期に計画案の立案が必要となる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 20年度以降について、図書館改修計画は未定。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大学図書館との連携					整理番号	842	枝番号							
担当部課名	中央図書館	コード	620131	連絡先電話番号	4715	昨年度整理番号	849	昨年度枝番号								
係名	企画サービス担当	上位施策名					No									
予算事業名	図書館運営管理	コード	82360	図書館サービスの充実					63							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	区民 図書館利用者		根拠法令等											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	生涯学習の推進及び大学・短期大学の教育・研究の推進に寄与することを目的に、杉並区立図書館と協定館が相互に協力しあうとともに、協定館が所有する資料の閲覧・館外貸出し、協定館が実施する事業や行事への協力を通じて、区民の生涯学習活動を支援する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	活動指標名(式)	(1) 杉並区大学図書館ネットワーク会議 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 大学図書館区民の館内閲覧者数 (2)												
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		回	7		4		4		4		4	100.0			
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		人	383		580		825		1,000		547	800	1,000	54.7	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	422		310		335		310		260		310		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0		
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0		0		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820		2,718		2,718		1,812		1,812		1,812	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0	
	総事業費 + +		千円	2,242		3,028		3,053		2,122		2,072		2,122		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	320,286		757,000		763,250		530,500		518,000		530,500		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0	
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		0	
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -		千円	2,242		3,028		3,053		2,122		2,072		2,122			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
18年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)					
		大学図書館とのネットワーク充実に向けた検討							4	回	72					
		大学図書館と区立図書館が連携した講演会の実施							1	回	188					
		その他 ( )									0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 842 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	83.9
		講演会実施におけるPRにおいて、協定館の協力と工夫で経費を節減した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・区立図書館の新システム導入とともに、協定館の大学図書館WEB検索できる蔵書検索横断システムが導入されて検索が可能となったが、ネットワークへの東京女子大学の参加は実現しなかった。 ・また、10月に講演会「奥多摩の山歩き～腕時計を持たない山歩き」を開催し、ほぼ定員の参加を得るとともに同時に図書館所蔵の講師の著作と熟年世代に関心の高い山歩きに関する図書を展示した。 ・平成19年度は、講演会に加えて協定館が持つ情報収集のノウハウを生かした新たな講座を展開する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・事業開始から4年目となる今年度は、講演会の開催および単なる大学図書館の利用に留まらず、各大学が持つ専門的知識・情報を生かした新たな取り組みを計画するなど、区民に対して幅広い連携成が提供できる方向性が出てきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・区内大学図書館の資料を活用できることに、区民からは概ね好評を得ているが、連携協定時に当面参画は見合わせる旨意思表示があった東京女子大学についても、連携を望む声が寄せられている。					
	今後の予測	・大学図書館の図書資料がWEB所蔵検索横断システムで検索が可能になったことで、協定館の相互利用実績増が予測される。 ・相互の施設を利用した講演会・イベントの開催、学生ボランティアを組織して図書館事業に協力を要請するなど多様な連携成果が期待できる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民が区立図書館には所蔵がなく各大学図書館の専門的な図書資料が活用できるようになり、区民が行う調査・研究活動を支援できる体制が整備された。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 連携大学の教授・助教授・講師の協力を協力を得た講演会や大学図書館が持つ専門的な知識・情報を生かした講座の開催等により、区民の知的欲求に応えることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法第17条により、公立図書館における無料であることが規定されているが、大学連携による成果の提供については、無料の原則適応外の部分もあると考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在、最小事業の範囲で予算計上をしており、成果の拡大を図るうえでは、一定の事業費増も必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 杉並区大学図書館ネットワーク協定館の相互利用とともに、協定館の協力で講演会・講座等を実施する。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 大学の人材を活用した定期的な講演会のほかに各協定館が持つ専門的な知識・情報を生かした講座等を実施する。また、現在は参加していないと東京女子大学の参加を図り、杉並区大学図書館ネットワークの更なる基盤整備に努める。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・連携の成果を最大に発揮するためには、参加している全大学の協力が必要であり、各大学が持つ専門的な知識・情報を生かした講演会や講座等の事業実施において、積極的な協力が必要である。 ・ネットワークに参画していない東京女子大学に対して、『区内大学連携』の事務局である社会教育スポーツ課と連携して参画を働きかけていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 事業開始以来実施している講演会に加えて、今年度から実施する協定館が持つ情報収集におけるノウハウを生かした講座をステップアップさせて実施していくため、講師謝礼当事業費増が見込まれる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館協議会運営						整理番号	843	枝番号																																																																																																																																																																																								
担当部課名	中央図書館	コード	620131	連絡先 電話番号	4715	昨年度 整理番号	850	昨年度 枝番号																																																																																																																																																																																										
係名	管理係	上位施策名						No																																																																																																																																																																																										
予算事業名	図書館運営管理	コード	82360	図書館サービスの充実						63																																																																																																																																																																																								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード																																																																																																																																																																																													
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等																																																																																																																																																																																												
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 図書館協議会委員		(1) 図書館法 (2) 杉並区立図書館条例 (3) 杉並区立図書館協議会規則																																																																																																																																																																																														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	図書館のサービスの成果及び達成度を明らかにし、効率的かつ効果的な区立図書館運営に資するため、図書館の経営評価その他の図書館政策について、中央図書館長の諮問に応じるとともに、意見を述べ、又は提言を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 館長の諮問について、必要な情報提供等に努め、適切な答申を出してもらう。また、区立図書館の経営に対する客観的な提言や図書館サービスに対する積極的かつ建設的な意見を述べてもらう。																																																																																																																																																																																												
	活動指標名(式)	(1) 開催回数 (2) 議題・報告事項数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 開催率 (開催回数 ÷ 開催予定回数) (2) 委員出席率 (委員出席人数累計 ÷ (開催回数 × 10名))																																																																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">16年度実績</th> <th colspan="4">17年度</th> <th colspan="4">18年度</th> <th rowspan="2">19年度計画</th> <th rowspan="2">目標値 22年度</th> <th rowspan="2">目標値に対する18年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標(1)</td> <td>回</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>本</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td>%</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>88</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>88.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">総事業費・コスト把握</td> <td>事業費</td> <td>千円</td> <td>480</td> <td>540</td> <td>445</td> <td>724</td> <td>433</td> <td>1,087</td> <td colspan="3" rowspan="3">特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)</td> </tr> <tr> <td>(内) 投資的経費等</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(内) 委託費</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>職員数 (常勤   非常勤)</td> <td>人</td> <td>0.20   0.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>常勤職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>1,820</td> <td>1,812</td> <td>1,812</td> <td>1,812</td> <td>1,812</td> <td>1,812</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業費 + +</td> <td>千円</td> <td>2,300</td> <td>2,352</td> <td>2,257</td> <td>2,536</td> <td>2,245</td> <td>2,899</td> </tr> <tr> <td>単位あたりコスト( - ) ÷</td> <td>円</td> <td>460,000</td> <td>470,400</td> <td>564,250</td> <td>507,200</td> <td>561,250</td> <td>579,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源</td> <td>受益者負担分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国・都等からの支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特定財源計 +</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>差引: 一般財源 -</td> <td>千円</td> <td>2,300</td> <td>2,352</td> <td>2,257</td> <td>2,536</td> <td>2,245</td> <td>2,899</td> </tr> <tr> <td>受益者負担比率 ÷</td> <td>%</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>											区分	単位	16年度実績		17年度				18年度				19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	計画	実績	計画	実績	計画	実績	指標	活動指標(1)	回	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	80.0	活動指標(2)	本	16	20	12	15	14	15	15	15	15	93.3	成果指標(1)	%	100	100	80	100	80	100	100	100	100	80.0	成果指標(2)	%	80	100	90	100	88	100	100	100	100	88.0	総事業費・コスト把握	事業費	千円	480	540	445	724	433	1,087	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0	0	職員数 (常勤   非常勤)	人	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,820	1,812	1,812	1,812	1,812	1,812	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	総事業費 + +	千円	2,300	2,352	2,257	2,536	2,245	2,899	単位あたりコスト( - ) ÷	円	460,000	470,400	564,250	507,200	561,250	579,800	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0	国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0	0	差引: 一般財源 -	千円	2,300	2,352	2,257	2,536	2,245	2,899	受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分	単位	16年度実績		17年度				18年度						19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%																																																																																																																																																																																		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績																																																																																																																																																																																											
指標	活動指標(1)	回	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	80.0																																																																																																																																																																																					
	活動指標(2)	本	16	20	12	15	14	15	15	15	15	93.3																																																																																																																																																																																						
	成果指標(1)	%	100	100	80	100	80	100	100	100	100	80.0																																																																																																																																																																																						
	成果指標(2)	%	80	100	90	100	88	100	100	100	100	88.0																																																																																																																																																																																						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	480	540	445	724	433	1,087	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)																																																																																																																																																																																									
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																										
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																										
	職員数 (常勤   非常勤)	人	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00																																																																																																																																																																																							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,820	1,812	1,812	1,812	1,812	1,812																																																																																																																																																																																									
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																									
	総事業費 + +	千円	2,300	2,352	2,257	2,536	2,245	2,899																																																																																																																																																																																										
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	460,000	470,400	564,250	507,200	561,250	579,800																																																																																																																																																																																										
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																									
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																										
差引: 一般財源 -		千円	2,300	2,352	2,257	2,536	2,245	2,899																																																																																																																																																																																										
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																											
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)																																																																																																																																																																																									
	図書館協議会開催に伴う委員報酬						10	名	420																																																																																																																																																																																									
	図書館協議会開催に伴う託児委託						4	回	13																																																																																																																																																																																									
	その他 ( )								0																																																																																																																																																																																									

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 843 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	80.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	93.3	18年度予算 執行率%	59.8
		第12期図書館協議会委員の任期終了に伴い、委員構成を10名から13名へ拡充する予定であったが、条例改正等事務手続きの関係により、新体制の第13期図書館協議会が平成19年度のスタートとなったため、平成18年度の開催回数が予定より少なくなった。そのことに伴い、委員報酬の支出の執行残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		図書館では、平成19年度から指定管理による図書館運営をスタートすること、委託館増など経営改革を進めている。そのことに伴い、今後必要となる経営評価など、民間活力の適正な活用を維持・推進するため、図書館利用者、区民など、第三者的な評価も必要となってくる。図書館協議会では、そうした状況に対応するため、平成18年度に条例及び規則の改正を行い、図書館協議会の所掌事項の見直しや公募区民委員の導入など編成の見直しを行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	過去の図書館協議会では、主に図書館利用における奉仕活動(図書館サービス)の向上に資する活動を進めてきた。近年は、公立図書館を取り巻く社会情勢の変化に対応するため、協働化、情報化、CS等、さまざまなニーズに対応した図書館とするための協議を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし					
	今後の予測	図書館の経営改革を推進することに伴い、民との協働など図書館運営形態の多様化、個々の利用者のニーズに対応したレファレンス・情報化など、公立図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、図書館協議会の重要性が増していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:学識経験者など、様々な委員の立場から、幅広い意見をいただくことは、図書館の経営改革の推進、サービスの向上など、図書館運営に大変参考になっている。平成19年度からは、新たに公募区民を加えるなど、組織改編を行っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:適切かつ分かりやすい資料を作成することにより、議事進行の効率化及び活性化を図る。またメールを用いるなど、連絡調整・資料送付などを迅速かつ密接に行うことにより、情報の共有化及び効率化を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められている。					
	(4) コストを下げ余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:委員報酬は、条例で定められている。また、会議内容を広く公表することにより、区民等への情報の提供及び共通認識を深める必要があることから、会議記録作成は不可欠な経費である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 協議会の構成員は、学校長を除き民間人で構成されている。また、図書館運営は、指定管理、委託、直営など様々な形態により運営されているため、協議会における今後の経営評価等、意見・提言は、公共図書館運営のための重要な判断材料となる。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者制度導入、委託による運営など、民との協働を適正かつ効率的に進めていくため、図書館協議会による評価、意見・提言を、今後の区立図書館運営に役立てていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 図書館協議会としての新たな役割、委員数増により、開催調整、意見集約等会議全般に係る調整の困難が予想される。PCメール等を活用することにより、連絡調整の迅速化、事前の資料送付による情報の共有化など、審議の円滑化に努めていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成19年度の区立図書館運営における経営評価に対し、図書館協議会による評価及び意見の反映手法について、詳細な検討が必要となる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		閲覧用図書の収集及び装備						整理番号	844		枝番号					
担当部課名	中央図書館	コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	851		昨年度枝番号					
係名 企画サービス担当					上位施策名			No								
予算事業名 図書館運営管理					コード 82360			図書館サービスの充実			63					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード									
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業											
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第2条、第3条、第10条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則											
	図書等資料		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 幅広い分野の資料を収集・保存することにより、利用者が必要とする図書資料・情報を入手することができる。													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		利用者の学習・文化要求に応えるため、図書資料を幅広く豊富に収集する。 また、資料が長期にわたり利用されるように装備を行う。													
活動指標名(式)		(1) 閲覧図書の収集(購入冊数 + 受贈冊数)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 全蔵書冊数 ÷ 利用者数 (2) 購入冊数伸び率(前年度比)										
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		冊	98,220		131,423		140,000		98,961	140,000	147,000	67.3			
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		冊	15.59		17.72		18.00		18.99	18.00	20.00	95.0			
	成果指標(2)		%	102.7		106.8		93.8		110.0	115.0	81.6				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	196,588		206,204		201,933		213,860		200,228		215,515		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0		
	(内) 委託費		千円	27,772		30,418		28,217		1,596		1,596		1,617		
	職員数(常勤   非常勤)		人	21.96	0.00	17.00	0.00	25.33	0.00	25.50	1.00	41.46	7.20	30.00	5.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	199,836		154,020		229,490		231,030		375,628		271,800	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		2,830		20,376		14,150	
	総事業費 + +		千円	396,424		360,224		431,423		447,720		596,232		501,465		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	4,036				3,283		3,198		6,025		3,582		
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -		千円	396,424		360,224		431,423		447,720		596,232		501,465			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
18年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)					
		閲覧用図書の購入(装備込)							94,255	冊	190,258					
		その他 (製本委託ほか)									9,970					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 844 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	70.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	93.6
		平成18年度から図書購入を装備込みとしたことで、作業の効率化と経費削減が実現した。購入冊数については、18年度は新システム切替えに伴い、購入を停止した期間があったため、前年度と比較して減少している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度から図書購入を装備込みと変更したこと、平成19年度からは図書購入の発注方法及び装備方法の一部変更に伴い、装備費及びラベル等の購入経費が削減されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	年間の出版点数の大幅な増加で資料収集の対象が増大しているため、収集できるタイトル数の割合は伸び悩んでいる。収集図書の装備については、平成13年度からその一部を委託しているが、平成18年度から図書を装備込みで購入する方式に変更した。また、平成19年度から購入方法も一部変更した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	新システムにおいて、HPや利用者用端末機から未所蔵図書の検索が可能となったことで、リクエスト件数が増加しており、新刊本の購入冊数増やリクエストの多い図書の複数冊購入に対する要望が増加している。					
	今後の予測	・未所蔵図書へのリクエスト件数が増加する中、リクエストへの対応についての検討が必要になることが予想される。 ・図書購入に際し、市場での物流が改善され、図書の発注から排架までの時間迅速化される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 成果指標の数値は十分とは言えないが、選書は勿論のこと、リクエスト対応にも力を入れている。また、装備をすることにより多くの区民の使用や長期保存に耐える資料となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 図書を装備込みの購入に切替えるとともに、装備方法も見直し経費の削減を図り、図書資料の購入費率を上げる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館においては無料と規定されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 図書の購入と装備方法の見直し					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 図書購入方法及び装備方法を購入業者と協議しながら見直す。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・ 図書館の委託化に伴い、図書資料の購入方法や装備の作業手順の見直しを継続して行い、図書購入と装備における事務の効率化を図る。 ・ 今後の資料収集については、資料のデジタル化についても視野に、利用者用インターネットPCの導入に伴う電子化への対応も積極的に行っていく。 ・ 収集方針を定め、各図書館の地域性を活かすとともに、生涯現役としての区民の自立を支援できる図書の収集を図る。 ・ 増加する新刊図書・未所蔵図書へのリクエストの今後の対応について検討が必要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 新たに定めた収集方針を基に、リクエストへの対応も含めて、各館毎に収集計画の確立を図り、デジタル資料も含めた幅広い資料収集を図る。 ・ 購入方法や装備方法の見直しについて、購入事業者と具体的な協議を進める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 未整備地域図書館として(仮称)西荻地域図書館が平成19年12月に開館することに伴い、資料購入費が増加する。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者・高齢者に対する図書館サービス						整理番号	845	枝番号					
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先 電話番号	4715	昨年度 整理番号	852	昨年度 枝番号					
係名		企画サービス担当				上位施策名			No						
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360	図書館サービスの充実			63						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等								
	目や身体が不自由な方、高齢者						(1) 杉並区立図書館条例、同運営規則 (2) 杉並区立図書館対面朗読実施要綱 (3) 杉並区立中央図書館点字資料・録音資料貸出実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・視覚障害者に対して、対面朗読の提供、録音図書、録音雑誌、点字図書、拡大写本の貸出しを行う。 ・図書館への来館が困難な障害者・高齢者に対し、郵送による図書館資料の貸出しを行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		目や身体が不自由な方や高齢者の方々が、一般の方々と同様に図書館サービスを受けられる。						
	活動指標名(式)		(1) 対面朗読実施時間数 (2) 録音図書、録音雑誌貸出し件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 対面朗読利用者数 (2) 録音図書利用者数						
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		時間	848		1,000		814		1,000	634	1,000	1,200	52.8	
	活動指標(2)		巻	14,060		18,000		15,415		18,000	14,846	18,000	21,600	68.7	
	成果指標(1)		人	426		550		407		550	317	550	660	48.0	
	成果指標(2)		人	2,524		3,000		2,885		3,000	2,690	3,000	3,600	74.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,983		2,842		1,855		2,884	1,894	2,884	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0	0	0			
	職員数 (常勤   非常勤)		人	1.13	0.20	1.00	0.20	1.15	0.20	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,283		9,060		10,419		13,590	13,590	13,590		
		非常勤職員分		千円	576		578		578		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,842		12,480		12,852		16,474	15,484	16,474			
	単位あたりコスト( - )÷		円	15,144		12,480		15,789		16,474	24,423	16,474			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0	0	0		
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	12,842		12,480		12,852		16,474	15,484	16,474				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		対面朗読サービス、録音テープ製作(謝礼)						1,050	時間	958					
		点字情報システムリース						1	セット	383					
		その他 (テープ購入、拡大写本製作等消耗品)								552					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 845 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	63.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	82.5	18年度予算 執行率%	65.7
		対面朗読者数をはじめとする障害者サービス利用は特定の利用者に偏る傾向が見られる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害者サービス全般にわたる利用者増に向けて、新しい録音媒体の導入や方式を含めて、利用者のニーズに対応する必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	図書館障害者サービス登録者、平成18年度末(323人)。しかし、実際の利用者は約74人。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・自宅での対面朗読サービス、高齢者等の来館困難者に対する、図書資料郵送サービス。 ・録音図書のCD化					
	今後の予測	18年度に、点字資料や音訳資料を電算システムに登録を行った。19年度に、目や身体の不自由な方へのサービスの他に、高齢による来館困難者に対するサービスを検討し具体化する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	理由:目や身体の不自由な方や高齢者に対して、読書等の機会を提供することに寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:19年度より電算システムに点字資料、録音資料が登録され、資料貸出申請も可能になった。パンフレット等を更新し、障害者サービスのPRを強化し、関連各課、関連団体に対して呼びかけを行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:図書館法第17条の図書館利用無料規定による。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:主としてボランティアの協力で事業実施しており、コスト節減が困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 対面朗読サービス、音訳図書製作、拡大写本製作、ボランティア育成について、ボランティア団体や個人の協力を得ている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・利用者の固定化を避け、多くの障害者等の利用を図るため、新規利用登録者を増やすよう、サービスPRの強化を行う。 ・関係団体との連携を推進する。 ・要望のある録音図書のCD化を図る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・広範囲の障害者、高齢者への効果的なサービスPRの工夫が必要である。 ・録音図書のCD化の経費・期間の捻出。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 20年度は、19年度と同規模で継続するが、高齢等の理由で来館困難者に対する資料の宅配など、新たなサービスを具体化し、実施する必要がある。また、資料のデジタル化の対応についても実現に向けて検討を行う。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域・家庭文庫支援				整理番号	846	枝番号				
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先 電話番号	4715	昨年度 整理番号	853	昨年度 枝番号		
係名					協働推進担当			上位施策名		No		
予算事業名					図書館運営管理			コード		82360	図書館サービスの充実	63
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内で活動する地域・家庭文庫		(1) 杉並区立図書館運営規則 (2) 杉並区地域・家庭文庫への支援に関する取扱要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			地域・家庭文庫の活動を支援するため図書を貸与している。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書を貸与することにより、地域・家庭文庫を通じて地域の住民に新しい図書を提供する。						
	活動指標名(式)			(1) 助成対象文庫数 (2) 文庫開催回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 文庫利用者数 (2) 文庫図書利用冊数						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		団体	8	12	9	12	9	12	12	75.0	
	活動指標(2)		回	277	280	312	320	318	320	340	93.5	
	成果指標(1)		人	5,351	5,400	5,046	5,200	5,696	5,300	5,300	107.5	
成果指標(2)		冊	9,547	9,600	9,999	10,500	1,413	11,000	11,000	12.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	840	840	840	840	840	840	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	910	906	906	906	906	906		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	1,750	1,746	1,746	1,746	1,746	1,746			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	218,750	145,500	194,000	145,500	194,000	145,500			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	1,750	1,746	1,746	1,746	1,746	1,746				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		地域・家庭文庫に対する図書の貸与						9	箇所	840		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 846 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	75.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.4	18年度予算 執行率%	100.0
	小・中学校の夏・冬期休業期間に間に合うよう、図書の貸与時期に留意した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	要綱に基づき、意見交換会を開催した。
---	--------------------

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当該事業開始当時は区立図書館が5館しかなく、地域・家庭文庫は図書館の補完的な役割を果たしていた。区の14館構想に基づき図書館整備が進んだ現在では、当初20以上あった文庫が、9文庫へと減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	各文庫からは、支援継続の要望がある。
	今後の予測	図書館の補完的役割は終わったが、子ども読書活動推進計画に基づく地域における読書活動推進の観点から、一定の支援を行っていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由: 地域図書館の整備が進んだ。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 要綱に合致する文庫が増えれば、予算の範囲内で支援する。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法第17条の規定による。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 図書の貸与を、中央図書館が所蔵する団体貸出用図書の貸与に置き換える。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 地域に密着した図書館サービスを行うことができる。	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域における読書活動推進の観点から、一定の支援を行う。	
20年度方針	(2) 理由 文庫数の変化が見込めないため。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営の調査研究・司書養成						整理番号	847		枝番号					
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先 電話番号	4715		昨年度 整理番号	854		昨年度 枝番号			
係名		管理係						上位施策名		No						
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		司書資格の取得を希望する職員		根拠法令等									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		司書資格の取得を希望する職員のうち、適正と認められた者について、大学で開催する司書・司書補講習を受講させ、資格を取得させる。また、職員の専門的知識向上のため、職員研修を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
	活動指標名(式)		(1) 司書、司書補養成者数 (2) 研修実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 司書数 (2) 司書率(司書・司書補 ÷ 正規職員)											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		司書資格の取得を希望する職員のうち、適正と認められた者について、大学で開催する司書・司書補講習を受講させ、資格を取得させる。また、職員の専門的知識向上のため、職員研修を行う。		資格取得を希望する職員に司書・司書補資格を取得させる。また、利用者の調査・研究活動、課題解決の支援を行える専門的知識や技術を備えた職員としていく。												
活動指標名(式)		(1) 司書、司書補養成者数 (2) 研修実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 司書数 (2) 司書率(司書・司書補 ÷ 正規職員)												
区分		単位	16年度 実績		17年度		18年度		19年度 計画		目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	4		4		4		4		4	25.0			
	活動指標(2)		回	0		2		1		2		2	50.0			
	成果指標(1)		人	65		58		54		53		46	108.7			
	成果指標(2)		%	40.9		39.5		36.7		40.0		40.1	92.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	491		609		585		558		290		819		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0		
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0		0		
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.20	0.00	1.20	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,920		10,872		906		906		906		906	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0	
	総事業費 + +		千円	11,411		11,481		1,491		1,464		1,196		1,725		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	2,852,750		2,870,250		372,750		366,000		1,196,000		431,250		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0	
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		0	
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -		千円	11,411		11,481		1,491		1,464		1,196		1,725			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)						
		司書養成講座負担金						1	人	214						
		研究機関負担金						1	団 体	50						
		司書養成講座テキスト代						1	人	26						
		その他 ( )								0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 847 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	25.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	50.0	18年度予算 執行率%	52.0
	・司書・司書補養成講座受講者を的確に選定したため、受講対象者が1名となった。 ・職員向け研修は、OJT方式により1回開催した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・レファレンス業務の研究を重ねるとともに、司書の質向上のためOJT研修を行い、図書館サービスの向上を図っている。 ・19年度は、更なる職員の質向上のため外部講師による研修の開催を予定するとともに、必要な情報の収集を行う。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	図書館の司書職員の配置割合目標を40%とし、毎年度司書養成を行ってきた。その結果、司書率40%前後を確保している。近年は、民との協働が進み、職員定数が減っているため、司書配置割合は若干上昇する見込みである。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。
	今後の予測	地域図書館への指定管理者の導入をはじめ、民との協働が進む中、図書館職員の減少が予想される。その中、司書を含めた図書館職員について、マネジメント能力が重要となり、高い専門的知識や技術も求められてくる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 専門的知識・技術を持った司書の育成・配置は、利用者の様々なニーズに対応できる体制を確立するものであり、利用者全体のサービス向上に資する。また、図書館にとっても事業の企画立案者として、サービス全体の充実が図れる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるのか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事業目的が職員の質の向上であることから、司書の養成はもちろんのこと、多岐にわたるサービスに対応するための専門研修を充実させることによって、職員のスキルアップは図られる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 対象が職員であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 指定管理者制度等、民との協働を推進することにより、職員配置が減少するため、対象減となり、コストが減少する。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 指定管理者や委託業者による民との協働による図書館運営を推進しており、職員以外による司書の確保や独自のスタッフの質の向上が図られている。
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館の経営改革の進捗状況により、時期については未確定ではあるが、指定管理者制度や運営業務委託等民との協働により、司書資格取得のための職員養成は減少していく。また、民との協働を進める中で、区立図書館職員の一層の知識・技術・マネジメント能力の向上を図るため、有識者等の講師により専門的な職員研修を充実させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 様々な運営形態が混在していく中、個々の質の差が生じる恐れがある。 連絡会などを設け、情報交換を密にしていったり、連絡体制を確立し、利用者へのサービスの均等化を図っていく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現時点では、新たな指定管理者、業務委託は具現化しておらず、職員定数については大幅な減少は想定されない。そのため、司書・司書補養成や職員の調査研究の規模については、同じく変化はないと思われる。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ブックスタート事業				整理番号	848		枝番号					
担当部課名	中央図書館	コード	620131		連絡先 電話番号	4715		昨年度 整理番号	855					
係名 読書活動推進担当		上位施策名						No						
予算事業名 図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実				63					
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 4ヶ月児健診受診者(保護者と乳児)				根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法 (3) 杉並区立図書館条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区内各保険センターの4ヶ月健診会場で、ブックスタートの目的、意義を保護者に伝え、ブックスタートパック(絵本2冊、図書館案内等)を配布する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ブックスタートをきっかけとして、親子が絵本を介して温もりある触れ合いの時間を実感することにより、子育ての一つの手段として図書館及び図書館の児童書を多く利用している。								
	活動指標名(式)	(1) ブックスタートパック配布数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ブックスタートパック配布率(配布数/検診予定者) (2)								
指標	区分	単位	16年度 実績		17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)	セット	3,532		3,700		3,258		3,700	3,542	3,700	3,500	101.2	
	活動指標(2)													
	成果指標(1)	%	97		100		95		100	96	100	100	95.9	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,401		7,306		5,738		7,295	5,342	7,300	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0		0		0		0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,730		2,718		2,718		1,812	1,812	1,812		
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0	0	0		
	総事業費 + +	千円	9,131		10,024		8,456		9,107	7,154	9,112			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	2,585		2,709		2,595		2,461	2,020	2,463			
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0	0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0	0	0		
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	9,131		10,024		8,456		9,107	7,154	9,112			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)							
	ブックスタートパックの購入				3,542	セット	4,864							
	ブックスタートボランティア謝礼				419	人	461							
	その他 (郵送料及び保険料)						17							

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 848 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	95.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	73.2
		実績による残。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ブックスタートパックの準備、配布に際しては、想定以上のボランティアの応募があり安定して事業の推進が図られるようになった。前年に予定したアンケートは、目的、項目を再検討する必要があり、19年度に検討を行ってから実施時期を決定することとした。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当事業をきっかけに図書館利用をする保護者も増え、乳幼児連れの来館やお話会等への参加も増えている。一方でパックの内容に意見をいただくこともあり、一定の実施期間の経過後にはパックの内容についての検討も必要と思われる。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見としてはおおむね好評をいただいているが、配布用の絵本が既に家にある保護者からは別なものに取り替えて欲しいとの意見もある。				
	今後の予測	ブックスタートについては今のところ継続を希望する保護者が多いと判断されることと、0歳児の増減が顕著に見られないことから当分現況のまま推移すると判断される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：当事業が図書館利用のきっかけになっているとともに、保護者が図書資料を活用して育児に役立てるなど子育て支援に果たす役割も大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：成果指標としてはブックスタートパック配布率であり、実検診受診者により増減が生ずるため、また、図書館利用に関しては図書館自体が利用率向上策を検討する必要があるため。 理由または具体的内容：				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：当事業の趣旨から、受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容：ブックスタートパック(絵本、バッグ等)はNPOブックスタートの協力を得て廉価で購入しているうえ、配布もボランティアにより実施しており、コストを下げる余地はない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ブックスタートパック(絵本、バッグ等)はNPOブックスタートの協力を得て廉価で購入。パックの配布準備と配布は公募のボランティアで実施している。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、図書館職員が毎月各保健センターへブックスタートパックを配送している。今後、定数削減を考えると現行体制の維持は厳しいと考えられるため、配送の委託化を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 配送委託化によるコスト増	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 少子高齢社会にあって、杉並区の児童数(0歳児から4歳児)は過去4年間で微増の傾向にある。19年度に入り国の統計では僅かに出生率の改善も見られていることから、当事業で対象となる0歳児の出生率にほとんど変化が無いと考えられるため予算見積の方向性は増減なしとする。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館拠点サービス事業						整理番号	849	枝番号			
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715	昨年度整理番号	856	昨年度枝番号			
係名				協働推進担当				上位施策名		No			
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360	図書館サービスの充実		63			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	事業コード		
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 図書館未整備地域の住民		根拠法令等 (1) 杉並区立図書館条例 (2) 杉並区立図書館運営規則 (3) 杉並区ふれあい図書室運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区内の図書館未整備地域において、区立児童館を利用し、「ふれあい図書室」を2所(馬橋・善福寺)開設する。運営に関してはボランティアと協働し、毎週日曜日に図書の貸出・返却等を行う。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書館未整備地域の図書館が開設するまでの間、未整備地域の区民等が図書館サービスを受けることができる。			
	活動指標名(式)			(1) 年間開催日数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年間利用者数 (2) 年間貸出冊数							
指標		区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
					計画	実績	計画	実績					
		活動指標(1)	日	149		125		124		93	52	175.0	
		活動指標(2)											
		成果指標(1)	人	5,315		4,000		3,443		3,000	1,500	153.1	
		成果指標(2)	冊	17,375		13,000		12,200		10,000	5,000	160.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	632		1,292		464		613	469	563	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0	0	0	
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0	0	0	
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.55	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,005		2,718		2,718		2,718	2,718	2,718
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0	0
	総事業費 ++		千円	5,637		4,010		3,182		3,331	3,187	3,281	
	単位あたりコスト( - )÷		円	37,832		32,080		25,661		32,029	35,022	35,280	
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	5,637		4,010		3,182		3,331	3,187	3,281		
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0		
18年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)		
		ボランティアによる窓口業務(ボランティア謝礼、電話代等)							2	室	469		
		その他 ( )									0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 849 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	87.5	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	76.5
		区立図書館電算システムの入替に伴い、2月に休室した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新たにボランティアを募り、従来からのボランティアとともに活動してもらい、安定的な運用に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	図書室開設当初は区職員2名で窓口業務を行っていたが、平成16年4月からはボランティア2名で行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。					
	今後の予測	19年度、(仮称)西荻地域図書館の開設時に、1所を廃止する予定である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 短い開設時間(週1日3~6時間)であるが、図書館未整備地域の利用者に図書を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 利用者が限られている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法第17条の規定により難しい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: ボランティアによる運営を行っており、これ以上の人件費の圧縮は難しい					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ )	協働等による成果と課題: 適切な費用で、地域に密着した図書の提供ができる。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 馬橋ふれあい図書室については、実施計画上高円寺地域に建設予定の図書館の開設に合わせ見直しを図る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高円寺地域の図書館用地確保の見通しが立っていない。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 善福寺ふれあい図書室を平成19年度に廃止する予定である。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども読書活動推進						整理番号	850		枝番号								
担当部課名	中央図書館			コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	857		昨年度枝番号						
係名 読書活動推進担当							上位施策名			No									
予算事業名 図書館運営管理							コード	82360		図書館サービスの充実			63						
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成			16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4		政策番号	3		施策番号	2		事業コード	5	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等									
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律													
	0歳から18歳までの全児童。団体貸出の登録団体			(2) 杉並区子ども読書活動推進計画															
				(3) 文字・活字文化振興法															
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)							事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
杉並区子ども読書活動推進計画に基づき、子どもたちが読書に親しむ機会となる事業(講演会、子ども会、本の展示など)を実施するとともに、保護者や子どもたちへ向けた読書啓発事業を行なう。また、学校図書館を中心とした学校支援を実施する。							当事業の推進により、家庭や地域、学校で子どもたちに関する読書環境が整備され、子どもたちがみずから進んで読書することにより、読書の楽しみを知るとともに多様な知識や情感を身につけた人格形成が図られている。												
活動指標名(式)							成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 講演・講習会等開催回数							(1) 講演・講習会等参加人数												
(2) 団体登録数							(2) 団体貸出冊数												
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%							
指標	活動指標(1)		回	22		22		20		20		24		25		27		88.9	
	活動指標(2)																		
	成果指標(1)		人	1,556		1,600		2,127		2,150		1,510		1,600		1,800		83.9	
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,207		5,090		4,447		5,767		4,783		10,654		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0					
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0		413					
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.80	0.00	1.40	0.00	1.80	0.00	1.50	0.00	1.74	0.00	5.50	0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	16,380		12,684		16,308		13,590		15,764		49,830				
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0				
	総事業費 ++		千円	21,587		17,774		20,755		19,357		20,547		60,484					
	単位あたりコスト( - )÷		円	981,227		807,909		1,037,750		967,850		856,125		2,419,360					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0				
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		0				
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0						
差引: 一般財源 -		千円	21,587		17,774		20,755		19,357		20,547		60,484						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)								
			児童図書・団体貸出図書購入						1,600	冊	2,359								
			子ども読書活動推進委員会						4	回	154								
			「本の帯」アイデア賞作品募集						621	作品事業	922								
			「子ども本の講座」「人形劇」「調べる学習賞コンクール」						3	事業	605								
			その他 (普及・啓発用経費 )								743								

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 850 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	120.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	82.9
		実績による残。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年11月策定の「子ども読書活動推進計画」を、18年度において新たに目標値を設定し改訂を行った。 改訂した読書活動推進計画では学校図書館の充実を重点とし、図書館においては学校等への支援体制の強化を実施することとなった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	「本の帯アイデア賞」や「調べる学習賞」等により本を読むことのみから、読書から得た知識や図書資料を活用した創作の楽しさ、面白さを知る児童、生徒が僅かずつでも増えてきている。一方では漢字を読めない書けない児童生徒も増加しており、読書の重要性がますます高まっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「本の帯アイデア賞」など、目新しい試みとして好評である。				
	今後の予測	地域、家庭、学校のうち、学校と連携した児童・生徒の読書環境の向上が一層求められてくる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 当事業が進める子どもの読書環境の向上は、図書館が提供するサービスの充実に大きく関わっており、また、「人が育ち、人が生きる杉並区」にあって「人が育ち」に読書活動の推進は大きなウエイトを占めている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるのか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 19年度から学校支援を実施することとなり、小、中学生の調べ学習を中心に図書資料整備が図られることとなる。このため今後小、中学生を中心に読書環境の向上が図られる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 研究会などで材料を業者から購入するような場合は、参加者に材料費の負担が考えられる。				
	(4) コストを下げる余地はあるのか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現行予算の中で、新しい試みなども実践し、最小経費で事業を推進しているため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 視覚に障害を持つ子どもに対する図書館資料はほとんど整備が図られていない。都立盲学校などに調査の必要性があるが、ボランティアの協力を得て、児童向視覚障害者用録音テープの作成など検討の余地があると考えられる。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 子ども読書活動推進事業にあって学校支援関連については、どのような支援を行っていくか学校、教員、PTA等を含め十分な検討が必要である。今年度で大枠の方向性を定め支援策を順じ実施拡大していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校ごとに学校図書館の実態(運営方法、蔵書の数と質等)が異なり、支援メニューが変化することが想定されるため、関連する教員、PTA等との連携をはかり支援を実施する。一方では、学校自身が学校図書館をどのように運営していくのが明確な方針を出す必要がある。	
	(1) 20年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 19年度予算と同額の範囲で事業の充実を図る。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO・ボランティア等との協働				整理番号	851	枝番号			
担当部課名	中央図書館	コード	620131	連絡先 電話番号	4715	昨年度 整理番号	858	昨年度 枝番号			
係名 協働推進担当		上位施策名						No			
予算事業名 図書館運営管理		コード 82360		図書館サービスの充実				63			
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 NPO,ボランティア団体、民間企業等		根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		図書館の運営に民間活力を導入する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		民との協働で図書館を運営し、図書館利用者へ充実したサービスを提供する。				
	活動指標名(式)		(1) 事業者等と協働で運営を行う図書館数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 事業者等と協働で運営を行う図書館数 (2)				
指標	活動指標(1)	館	0	2	2	3	3	6	7	42.9	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	館	0	2	2	3	3	6	7	42.9	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	158	54,600	51,005	132,924	130,145	256,878	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	0	54,600	50,909	132,674	129,834	256,648		
	職員数 (常勤   非常勤)		人	0.97   0.00	0.80   2.00	0.80   1.00	0.80   2.00	1.97   0.40	1.80   0.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,827	7,248	7,248	7,248	17,848	16,308	
		非常勤職員分		千円	0	5,780	2,890	5,780	1,132	1,132	
	総事業費 + +		千円	8,985	67,628	61,143	145,952	149,125	274,318		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円		33,814,000	30,571,500	48,650,667	49,708,333	45,719,667		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	8,985	67,628	61,143	145,952	149,125	274,318			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		成田図書館運営委託(委託等)				1	館	32,550			
		方南図書館運営委託(委託等)				1	館	35,124			
		中央図書館運営委託(委託等)				1	館	62,160			
		選定委員会委員謝礼				7	回	311			
その他 ( )								0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 851 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	97.9
		達成している。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度から、新たに1館の業務を委託した。 さらに、19年度より、2館で指定管理者制度を導入、1館で業務を委託するため、その準備を行った。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	第二次杉並区協働等推進計画で、地域図書館運営に指定管理者制度を試行することになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	図書館運営に民間の力を入れたことにより、図書館サービスの向上が見られた。				
	今後の予測	区の再雇用職員の活用も踏まえつつ、民との協働を進めていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 民間活力の導入により、費用対効果があがり、充実した図書館経営を実現することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 民の努力が評価につながる仕組みづくりを行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法第17条の規定により困難である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 運営委託費の多くは人件費が占めるため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 12館中3館(平成18年度現在)で民間活力を導入し、図書館サービスが活性化した。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の再雇用職員の活用も踏まえつつ、民との協働を進めていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の再雇用希望者数が年度末に確定するため、見込みで活用計画を進める必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 20年度は、19年度と同様規模で継続する。	